



このコーナーは、市内の協働の取り組みや話題・活動などを紹介します。

むらかみの話題



「水土里の路ウオーキングinあらかわ」開催

10月11日(土) 荒川沿岸土地改良区

ウオーキングを楽しみながら、改良区の仕事や揚水機場などの施設について理解を深めてもらおうと毎年開催しているもので、今年は親子連れなど160人以上が参加しました。ゴール地点のあらかわ総合運動公園では、新米コシヒカリのおにぎりや豚汁が振る舞われたほか、地元特産の球根や野菜などの農産物も配られ、土産を手にした参加者はご満悦の様子でした。友人らと参加した保内小5年生の山田莉久さんは「きつかったけど楽しかった。おにぎりも豚汁も最高に美味しい!」と話してくれました。



「あいさつ標語」でさわやかに

9月21日(日)~30日(火) 山北地区

秋の全国交通安全運動に合わせた「あいさつ運動」が、地区内全集落や各小中学校で行われました。これは山北地区中学校区小中連絡協議会と山北地区まちづくり協議会が連携して進めたもので、山北地区の小中学生から募集した「あいさつ標語」を書いた「のぼり旗」を作成し実施しました。そののぼり旗を片手に、子どもたちはさわやかに朝のあいさつを交わしていました。

たてこし軽トラ市 にぎわう

10月11日(土) 小川小学校駐車場



地元生産者が軽トラックの荷台に野菜などの品物を載せて直接販売する「たてこし軽トラ市」が開催されました。秋晴れとなったこの日、10台の軽トラックや軽ワゴン車が出店し、生産者が来場者との交流を通して地域の魅力を発信しました。会場ではつくたてのお餅や温かいきのこ汁の無料サービスなども行われ、約300人の来場者でにぎわいました。



秋晴れの中、楽しく安全に

9月28日(日) 勝木集落

二輪車の安全運転と技術向上をめざした「ライダーミーティング」が行われ、20人のライダーが参加しました。スラロームや急発進、急停車など、いざという時に備えた練習を実施。新潟市からの参加者は「ここに来るまでに海風を浴びて笹川流れを走るのも楽しみなんです」と笑顔で語ってくれました。主催した岩崎貴裕さんは「バイクに楽しく安全に乗ってもらえるようこれからも続けたい」と話していました。

ウェブで検索してみてね。



日本最大級のジャンプ台が完成

10月13日(月・祝) 日本海スケートパーク

日本最大級のサマースノーボードアプローチキッカーが完成しました。この日行われた竣工式では、ソチ冬季オリンピック銀メダリスト平野歩夢さんをはじめ5人のボーダーが、デモンストレーションを行い、空高く舞い上がり、次々と高難度の技を披露しました。この施設は、雪がなくてもスノーボードジャンプの練習ができる専用施設ということもあり、今後は、全国のトップアスリートが、練習に訪れることが期待されます。

スポーツの秋 運動会で地域交流

10月13日(月・祝) 神納東小学校



地域内の集落を超えた交流を図ろうと、神納東地域の運動会が開催されました。この日は台風接近による悪天候が心配されましたが、雨はほとんど降らず、屋外で開催することができました。毎年人気のパン食い競争をはじめ、各種目で思い切り体を動かして秋の一日を楽しみ、リフレッシュすることができました。

芋煮合戦とハイキング&荒川クリーン作戦

10月12日(日) 神林水辺の楽校ほか



地域の老若男女が一堂に会し、自然や文化に親しみながら親睦を深めるイベントが開催されました。午前中は、新潟県の名水に選ばれた平林不動滝へのハイキングと荒川のクリーン作戦が行われ、午後からは各集落自慢の芋煮を競い合う「芋煮合戦」を通じて、交流を深めました。秋晴れのもと、いっぱい笑顔が印象的でした。

大漁！獲れたて新鮮なさかなを求めて

10月12日(日) 岩船港



地元で獲れた魚介類をPRする「第21回さかな祭in岩船港」。新鮮な魚介類を手頃な価格で買えるとあって、会場には朝早くからたくさんの方が訪れました。いよいよ販売がスタートすると、われ先にとお目当ての魚を買い求める姿が見られました。